

家庭用パソコンの回収・リサイクルがはじまりました！

購入時の料金に、リサイクル料金が上乗せされますので、処分するときに、あらかじめリサイクル料金を負担する必要はありません。なお、それらのパソコンには、「PCリサイクルマーク」が表示されています。

平成15年10月以降に購入したパソコン

処分するときに「リサイクル料金」(3000円〜7000円(消費税別)で、メーカーによって異なります)を負担する必要があります。

平成15年9月までに購入したパソコン

なお、パソコンを購入した時期により、リサイクル料金の負担方法が異なります。

10月から、家庭用のパソコンは、製造業者と輸入販売者(メーカーなど)が有償で自主回収・リサイクルすることになりました。
使わなくなったパソコンを回収し、資源として再利用することで、廃棄物が減り、資源の有効利用にもつながりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

主な回収方法

パソコンの所有者が、メーカーの受付窓口へ回収を申し込む。
(同時にリサイクル料金を支払う)

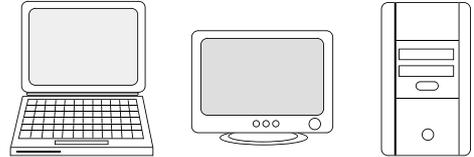


メーカーから指示を受けた郵便局が、パソコンを回収する。
(戸口回収または持ち込み)



郵便局から配送されたパソコンを、メーカーが再資源化する。

対象



デスクトップ・ノートブックパソコン、パソコンのディスプレイ(液晶、CRT)
*周辺機器(プリンタやスキャナなど)やワープロは対象外

お問い合わせは、生活環境課(880-6557)まで

低所得者層に対する介護保険料減免対策の実施について

市では、独自で平成15年度からの第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料の減免措置を実施しています。

減免の対象者

下表第2段階に賦課されている方で、市条例及び生活困窮者減免取扱要領の要件に該当する方

減免の内容

第2段階の保険料が、最高で13,500円の減免になります。

詳しくは、7月10日前後に送付しました平成15年度介護保険料決定通知書と説明文書をご覧ください。

第1号被保険者(65歳以上)の所得段階別保険料表(15年度~17年度)

区分		負担割合	月額	年額
軽減	第1段階	生活保護の受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が 市民税非課税者	基準額 ×0.5	2,250円 27,000円
	第2段階	世帯全員が市民税非課税	基準額 ×0.75	3,375円 40,500円
基準	第3段階	本人は市民税非課税であるが、世帯の誰かに市民税が課税されている	* 基準額	* 4,500円 54,000円
割増	第4段階	本人に市民税が課税されていて 合計所得金額200万円未満	基準額 ×1.25	5,625円 67,500円
	第5段階	本人に市民税が課税されていて 合計所得金額200万円以上の者	基準額 ×1.5	6,750円 81,000円

お問合せは、保健課高齢者介護保険係(880-6556)まで



新消防庁舎完成

9月26日、新消防庁舎（篠原）の落成式典が、浜田純市長をはじめ消防関係者らが多数出席し、盛大に行われました。

新庁舎は、優れた耐震性を備えた鉄骨4階建てで、現庁舎の約3倍の広さがあり、訓練塔も完備。1、2階に仮眠室、3階に事務室や休養室、4階には通信室やトレーニングルーム、多目的ホールなどが構えられています。また、大規模災害時に周辺住民の避難場所として使用できるスペースも確保され、今後、市の防災拠点となります。

本格的な業務開始は、機材の引っ越しなどが完了する10月末の予定です。



人権く共生の時代 ②

人権教育シリーズ

日本青少年研究所が一九八五年度にまとめた調査データの中に、「お母さんはあなたのことを自慢に思っていると思いますか」という質問があります。その回答として「自慢に思っていると思う」が、アメリカの子どもは92%、日本の子どもは23・6%でした。一方、母親に「自分の子どもを誇りに思っていますか」との問いでは、「はい」と答えた人はアメリカ96・2%なのに対して、日本の母親は72・9%です。また、「いいえ」の人が、アメリカは0・8%、日本は22・4%になっていました。この結果から、母親は誇りに思っているても、子どもの方は母親ほどには思っていないということが分かります。

日本の子どもは自分に対する自信や誇り、自尊心が低いといったことを聞きます。自尊心は、幼い時期からしっかりと育んでいくことが大事だといわれます。また、他人とのかかわりの中で高められていくとも言われています。

「かけがえのない自分に」

「自分のことが好きだ」「自分にはこんないいところがある」と誇れるためには、自分のよさを知ることから始まります。それは、他との比較によって「優れている」「劣っている」という見方ではなく、自分のありのままを丸ごと好きになることです。

私たちは、他からよいところを見つけてもらうことで、自分を見つめるきつかけとなったり、自信を持つことができます。自分を大切に思えば、他の人の人権をも大切に思う心が育まれるはずですよ。

「自分は愛されていて、能力があるんだ」と子どもたちが感じとれるそんな接し方をしたいものです。

友達や家族、周囲から認められ、「自分はかけがえのない大切な存在なんだ。自分はいるだけで十分に尊重される存在なんだ」と思える心・自尊心を育てていきたいものです。